

美容院に専用個室を設け、育児中のママを応援  
母親と子どもが並んでヘアカット

平成22年度 採択事業

有限会社 フロント  
代表取締役 武村章夫さん



武村章夫さん

美容室は“人が集い 笑顔になれる場所”

「赤ちゃんがいるから美容院にも行けない」。育児中のお母さんのこんな声に「それなら来てもらえる環境を整えよう」と立ち上がったのが、有限会社フロントの代表取締役、武村章夫さん。美容室『KUN KUN LÜHÖ（以下KKLH）』のオーナー美容師でもあります。KKLHは、2km圏内に200軒以上の美容室がひしめく激戦区・四条烏丸にあって、親しみやすいスタッフたちが、“キレイ”と“元気”をくれると人気を集めるサロンです。その店内の一部を改装し、新しく設置されたのが、母親と子どもが並んで施術が受けられる専用個室「mama&kid's room」。

武村さんは、昭和62（1987）年に美容師として独立し、初めてのお店を開業しました。当時の店名は漢字表記で『滾滾遼河』。「滾滾」とは中国語で、水が勢いよく溢れ出すこと。「遼河」は大きな河という意味です。水のあるところに人が集まり、そこから文明が生まれてきたように、同店にもたくさんの方が集まり、そこから何か生まれるように、との想いがこめられています。初めて自分のお店を持ったころの気持ちを訊ねると、「ここに来たら気持ちが明るくなって、笑顔で帰ってもらえる。そんな美容室にしたいと思っていましたね」と当時を振り返る武村さん。



美容室 KKLH の店内。

チャリティーカットにこめた想い

店名にこめた想いを具現化するように、武村さんがオープンした1号店は、店のスペースの半分をギャラリーとして活用し、施術を受けながら映画が楽しめる120インチのプロジェクターを完備。数々のイベントを開催して人が集まったといいます。他にはない美容室として人気を集め、その後、3店舗にまで経営を拡大しました。平成15（2003）年には3店舗を統合して現在の5階建ての自社ビルに移転、新生KKLHが始まりました。

この移転・統合と同時期にスタートしたのが、『チャリティーチャイルドカット』です。これは定休日を利用して、

人・まち・社会を元気に

地域密着

小学6年までの子どもを対象に、スタッフがボランティアでヘアカットを行なうというもの。カット代金は募金として預かり、東日本大震災の復興支援などに全額寄付します。

「社会貢献という思いもありますが、子どもと向き合うと自分が成長させられるし、元気な笑顔にパワーをもらえますよね。これまでの店舗ではスペース的に限界がありましたが、店舗が広くなりスタッフも増えた今なら、いろんなことに挑戦できるといったんです」と自身が4児の父親でもある武村さんは語ります。以来9年にわたり、年4回のペースで開催しており、毎回、予約受付の開始日には100名の枠すべての予約が2時間で埋まるほどの人気イベントとして定着しています。



チャリティーチャイルドカットの様子

育児中でも気軽に利用できる美容室を

乳幼児は手が離せないため、育児中の母親はなかなか美容室に行けない状況にあります。一方で、以前と比べて、出産後もおしゃべりへの関心が高い女性は確実に増えています。同店の中心層である20代後半～30代の女性客も幼い子どもがいる人が少なくありません。「子どもが小さいうちは行きたくても行けない」、「子どもが騒ぐと他のお客さんの迷惑になるから連れて行けない」という声も多いため。また、育児ストレスで心を病む母親が増加しているという話を聞く度に、武村さんは「育児の息抜きに、美容室でリラックスしておしゃべりしたり、ヘアチェンジしてきれいになれば、笑顔になれるのに」と感じていました。そして、「子育てママが気楽に美容室に来られる環境をつくりたい」との思いを深めて行ったといいます。

そんな中、先輩のファンド事業者から、子育て支援に役立つ事業を応援してくれるファンドの活用を薦められました。採択がきっかけで、それまでぼんやりと考えていた「母子と一緒に施術が受けられる専用ルーム」の設置が実現に向けて動き出しました。ファンドの助成金は、その大半を専用ルームの改装工事費に活用。広告宣伝用のフライヤーも作成しました。

専用ルームの完成と新たなニーズ

完成した専用ルームは「mama&kid's room」。頭を悩ませたのは設置場所です。同店はビルの1、2階をサロンに活用しており、開放感を演出するために店内は仕切りのない造り。1階フロアに設置しては圧迫感を与えるのでは、との懸念がありました。そこで2階の着付け室を改装することに。「1階と切り離したことで結果的にプライベート感が強くなって良かった」と武村さん。ルーム内にはチェアを2席並べて配し、遊べるスペースとオムツ交換台を設置。一方だけがカットする場合も、退屈しないで待てるようDVDや絵本、遊具などを用意しました。利用は完全予約制で、個室使用料はもらわず、通常の施術料金のみとしました。

顧客への案内は、育児中の母親が来店された時に直接案内するほか、ホームページやDMなどで情報を発信。近隣マンション等へのポスティングや、保育園・幼稚園への案内によって新規顧客開拓にも取り組み、徐々に認知度を高めています。

当初、保育専門スタッフがいなかったことが不安要素だったとか。しかし、「9年間続けてきたチャリティーの経験で、スタッフは子どものカット技術だけでなく、コミュニケーション能力も身に付けており、まったく心配なかったです」。

今後は、「スタッフの子どもも連れて来られる環境を整え、働くママの子育て支援を進めていきたい」と語る武村さん。さらに「抗がん剤治療中の人や、人が集まるところに行けない人など、子育てママ以外の“美容室に行きたくても行けない人たち”の受け皿にもなりたい」。個室対応の美容室としての新たなニーズも明らかになり、次なる展開を着々と進めています。



絵本や遊具などを備えた「ママ&キッズルーム」

事業概要

有限会社 フロント

http://kklh.jp/

代表：武村章夫

業種：美容業

創業：昭和62（1987）年 設立：平成4（1992）年

住所：〒604-8114

京都市中京区堺町通六角下ル甲屋町 390-1

KKLH ビル

TEL：075-213-1830 FAX：075-213-1830